



ロッテカード株式会社 様

手のひら静脈認証システムを使ったHandPay決済サービスによって「手のひら」で買い物を可能に

ロッテカードは富士通の「手のひら静脈認証」ソリューションを採用。これにより事前に生体情報を登録した会員は店舗で手のひらを認証装置にかざすだけで、安心・安全な決済が行えるようになった。この革新的なアプローチで現金やクレジットカードを持たずに支払いができるようになり、ショッピングをより楽しんでもらえるように。この結果、ロッテカードは競争の激しい韓国のクレジットカード業界の中のリーダーとしての地位を確立した。

“

富士通は韓国特有の規制や環境を理解し、豊富な経験と高い技術力で私たちの要望に応えてくれました。

ロッテカード株式会社
Smart Business Team Head,
Kim 様

”

ロッテカードと富士通の共創によって カードレスでのショッピングを実現

2002年に創立した韓国の大手クレジットカード会社であるロッテカード株式会社様(以下、ロッテカード)は、クレジットカード事業を中心に、金融サービスを展開しています。資産総額は10.2兆ウォン(約1兆円)を超え、同社は急速に拡大するモバイル金融サービス市場の中で、トップ企業としての地位を確立しています。政府主導でFintech産業の活性化に積極的に取り組む韓国では、モバイル金融サービス市場が急速に拡大しています。また、生体認証市場は2012年から2016年の間に2倍に拡大し、今や2,700億ドル(約3兆円)規

模の市場に成長しました。この分野で一步リードして競合より優位に立つためにロッテカードは、クレジットカード会員に安全で使いやすいサービスを提供することを目指しました。

韓国金融市場を牽引する、 最も安全で便利な決済ソリューション

手のひら静脈認証ソリューションをHandPayサービスに採用したことにより、ロッテカードの会員は、店舗で手のひらを認証装置にかざすだけで支払いができるようになりました。同社がこの分野に力を入れている理由について、ロッテカードのMarketing Head OfficeでManaging Directorを務めるPark様は、こう語ります。「ロッテグループは他社に先駆けて新たな技術の導入に挑戦する企業だと自負しています。韓国クレジットカード市場のNo.1企業ではありませんが、人工知能(AI)やビッグデータ分析などを率先して採用し、韓国の金融サービス業界の中でも先進技術を積極的に活用するリーダー企業になりたいと考えています。」

手のひら静脈認証システムでは、手のひらの静脈情報をイメージの形態で保存するのではなく、静脈パターン情報を解

読が不可能なデータに変換した上で暗号化します。そのため、偽造されるリスクは指紋認証より圧倒的に低くなっています。また、手のひらの静脈血管は本数が多く複雑であることから、多くの情報が含まれます。体内の情報であるため改ざんやなりすましに強く、同システムの他人受諾率は0.00008%、本人拒否率は0.01%と安定して高い認証率を誇り、信頼性という点において他の生体認証システムを大きく引き離しています。また、装置のセンサー面に直接触れる必要がないため、衛生的であるという優位性も持っています。

プロセスを可能な限り簡便化するため、ユーザーはあらかじめカードセンターで手のひらの生体情報をスキャンして登録します。この情報は暗号化されたデータに変換され、ユーザーのクレジットカード情報に紐付けされます。これにより、商品購入時には決済装置に携帯電話番号を入力してスキャンに手のひらをかざすだけで承認され、支払いが完了します。静脈パターンは変わらないため、一度登録すれば再登録なしで利用することができます。

カードレス決済システムが買い物だけでなく ビジネスも変革

ロッテカードのHandPay決済サービスが社会に浸透すれば、何も持たずに買い物ができる世界が実現できます。財布も、モバイル端末も必要ありません。HandPay決済サービスを実現できた背景について、Smart Business TeamのHeadを務めるKim様は2社の親密な関係に焦点を当てながら、「富士通は韓国特有の規制や環境を理解し、豊富な経験と高い技術力で私たちの要望に応えてくれました」と振り返ります。このシステムは大手コンビニエンスストアのセブンイレブン様を含めて、現在、30店舗以上で導入されており、今後はロッテグループの流通会社に段階的に導入される予定です。



お客様情報

ロッテカード株式会社

所在地：ソウル特別市中区 ソウォル3番(韓国)
設立：2002年
ウェブサイト：www.lottecard.co.kr(韓国語)